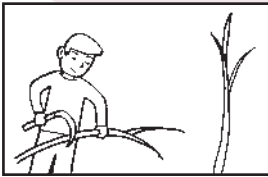


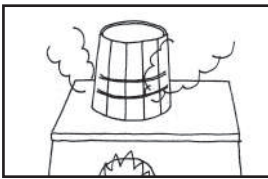
手漉き和紙ができるまで

1 原料づくり



刈りとり

原料になる樅を落葉の後、年一回（12月初旬～1月中旬）刈りとりま



蒸し

刈りとった樅の木を蒸し、皮をはぎ



皮剥ぎ

蒸しが終わったとき、皮をはぎます。



表皮取り

外皮（黒皮）をけずりとり、乾燥させ

2 紙づくり



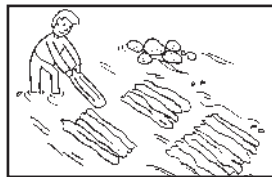
水浸け

川の浅瀬か水槽に2日間（冬は3日



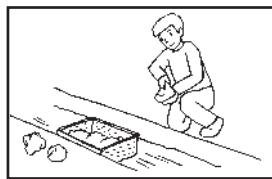
煮熟

原料を釜の中に入れ、煮熟剤（アル



灰汁ぬき・漂白

流水にひたし、灰汁をぬくとともに、



ちり取り

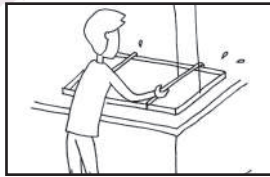
原料に付着しているちりやゴミを取



叩解

繊維を木槌で叩き、細かくほぐし

3 紙漉き



たてる

紙を漉くまでの作業を「紙をたてる」とい



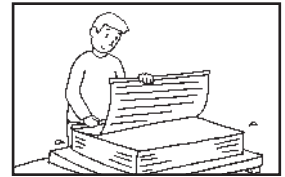
漉き

次に簀桁という道具を使って漉船

7 化粧水…紙の表面をつくり

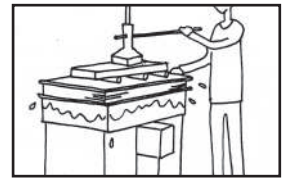
1 調子…紙の厚みをつくり

7 払い水…紙の裏面をつくり



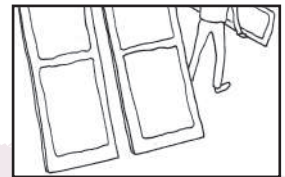
紙床をつくる

漉きあげた湿紙を紙床板に一枚ず



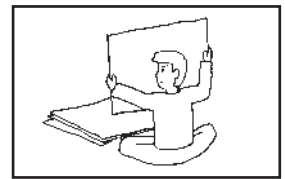
脱水

紙床の圧搾といい、紙の水分をし



乾燥

一枚ずつはがして、特製の刷毛を



仕上げ

乾かした紙を一枚一枚手にとって